

授業の工夫

指示や説明は、短い言葉で端的に伝えます。



今の活動や終わりが分かるようにマグネットを移動させながら授業を進めます。

本時の活動のポイントや目標が分かるように手本を見せながら伝えます。

本時の学習活動や目標を示すことで、児童生徒がすべきことが分かり、活動に見通しをもち、安心して意欲的に学習に取り組むことができます。

一人でできる工夫



取り外し可能にすることで、机上学習の妨げになりません。

上から順番に取り組みます。
終わった活動のカードは、
箱に入れます。

手順を視覚化し、順番に並べて提示することで、登下校時の活動に一人で取り組むことができます。

教室環境の工夫

ブックエンドで仕切ること
で、整理しやすくなります。



棚を児童生徒ごとに縦一
列で分けます。かごの中
に入れる物の名前やイラ
ストを貼ります。

自分の持ち物をどこに置くのか、見て分かるように示すことで、かばんの準備や片付けを自ら行うことができます。また、友達の棚と比較しやすくなり、整理整頓する力が身に付きます。